

新化 *Let's Fight Together!* 進路通信第4号

7月になりました。もうすぐ夏休み？ いえいえ、ベネッセの模試と全商ビジネス文書実務検定が間近に迫っています。保護者懇談もあります。浮かれないでくださいね。

驚くべき早さで梅雨が明けました。最高気温が35℃を超える猛暑日が普通になりつつあります。電力への不安はあるものの、背に腹は代えられません。「適切に」利用しましょう。教室を空ける際は「エアコンつけて、ドア閉めて」です。このルールを必ず守ってください。若いみなさんは油断しがちですが「命に関わる暑さ」であることを忘れないでください。校内の諸活動において熱中症対策は必須です。

《当面の進路関係行事》

- 7/ 1 (金) 求人票受付開始
- 2 (土) 1, 2年生 ベネッセ学力テスト
- 3年生 ベネッセ記述模試
- 3 (日) 全商ビジネス文書実務検定
- 14 (木) ~ 21 (木) 保護者懇談
- 14 (木) ~ 27 (水) 3年生夏季補習
- 14 (木) 就職希望者保護者説明会
- 22 (金) 終業集会
- 25 (月) 3年生 就職ガイダンス
- 28 (木) 学校祭クラス活動優先日
- 29 (金) 30 (土) 3年生 全統共通テスト模試
- 8/ 19 (金) 学校祭クラス活動優先日
- 20 (土) 3年生 全統記述模試
- 23 (火) 始業集会 課題テスト 就職推薦校内選考会

《自習室について》

「がやがやBOXにこんな意見がありました」と、先日担当の先生から見せていただきました。内容は「18:00以降も使える自習室がほしい（できれば20:00くらいまで）」というもので、加えて「職員室前は席も少なく冬は寒い」とありました。率直な要望で進路指導部としても検討する必要を感じました。

私の息子は浪人していた間、「自宅では勉強しない」と決めて祖母の家から予備校に通い、予備校の自習室で部屋が閉じられるまで終日勉強していましたので、「自宅以外（学校や図書館）の方が集中して勉強できる」という意見に違和感は全くありません。本校でも早朝、放課後、考査の午後など、教室で勉強している生徒を多く見かけます。職員室前や個室で個別指導を受けている生徒はさらに多く、本校のストロングポイントだと思っています。さらにコロナ以前は、夏季休業、冬季休業中に空調の効いた自習室を設定し、職員が管理をして便宜を図っていました。

そうです。「コロナ以前は」。

今、自習室を設定する際にあげられる問題点は次の通りです。

- ①コロナ禍では生徒を早く下校させる（現時点で文科省や岐阜県の指針に変更はない）べきだ。
- ②エアコンを含む設備の使用、教室の保安、下校時の安全を含めた管理上の問題がある。
- ③生徒の自主的な活動である部活動には、曜日も時間も制限がある中で、自習と部活動の整合性を考えねばならない。
- ④岐阜県の至上命題である「働き方改革」とのバランスを考慮せねばならない。

以上のような理由もあって、現時点では18時をめぐりに下校を促しています。個別に先生の指導や監督の下で残留する場合は、その先生の責任で残ることになっています。

生徒の自主的な自習のための「自習室」の設置と利用時間については、上記のことと生徒のみなさんの便宜を考えながら議論していきます。回答はもう少しお待ちください。

《雑感》

「自分が高校生だった30年前は・・・」という話をするところがある。こちらとしては「ちょっと前の昔話」というつもりでいるのだが、生徒にとっては「はあ？」ということになってしまう。「エアコンがなかった頃は、」と言っても当時は猛暑日という言葉はなかったわけだし、「東京の友達と会うにしても、電話もないから手紙で、」と言ってもスマホがない生活なんて想像できないだろう。ちょうど自分の親たちに「戦時中はねえ・・・」と話されても、ピンとこないのと同じだろうと思う。自分としては体験談でも、聞く側にとっては夢物語だ。経験したことから伝えたいところがあるのだが、実はうまく伝わっていない。

経験によってしか学べないことや、経験しないとわからないことは多い。災害の怖さや戦争の悲惨さなど、経験しないで実感できれば歴史が繰り返されることはないのだろうけれど、そうはいかないようだ。「ストレスへの耐性」などもどんなに知識を得ても身につかない。ストレスを経験することでしか人は強くなれない（ストレスを美化しているのではない）。残念ながら知識でカバーできないことは多いのだ。

であるならば、早くに経験して、せめて経験から得た教訓を次に生かしたい。

選挙がある。人生経験が豊富にある人も、早くに経験すべき人も、投票に行くべきだと思う。

《おまけ》

「歴史をまなぶ」から「歴史に学ばせよう」という意図を強く感じさせる入試問題。手軽なところで東京大から。単語を変えれば全く現在にもあてはまりそうだ。なお、1行は30字。

・17世紀のイングランド（イギリス）およびフランスで実施された経済政策について、それらを推進した人物の名や代表的な法令をあげつつ、当時のオランダの動向と関連づけて4行以内で説明しなさい。（2016年度 世界史 東京大）

- ・徳川家康が大船禁止令を出した理由を、当時の政治情勢を踏まえて2行以内で述べなさい。
- ・幕末には、大船禁止令の理解の仕方が当初と比べ、どのように変化しているか。3行以内で述べなさい。（2016年度 日本史 東京大）

同年度の世界史では「ゴルバチョフが国内改革のために掲げた『立て直し』を意味するロシアのスローガンの名前を記しなさい。」という出題もあった。

私には「体験」、生徒のみなさんには「世界史の知識」ということだね。